

2015 年度事業報告書

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、びわこホールが開催する“ラ・フォル・ジュルネ”でのキッズプログラムの開催や、県事業への参画による子ども向け体験プログラム「裾野を広げる国際交流～異文化体験～」、「世界を体験しよう！」の開催など身近に国際交流を感じてもらうための事業を実施した。

また、外国にルーツを持つ青少年の進路選択の一助となるよう取り組んでいる「キャリアデザイン研修」は4年目となり、外国にルーツを持つ青年たちが18職種の各方面で活躍しているゲストから直接話を聞く機会を設ける「職業人と語る会」を開催した。また、近年のフィリピンからの外国人住民の増加に伴い、相談窓口には新たにタガログ語の通訳を配置し相談に対応したほか、外国人向け情報紙でも6月号よりタガログ語版を発行した。その他、地域における外国人住民に対し多岐にわたる支援を行うとともに、行政、民間団体、NPO間の連携を促進し、外国人住民が地域の一員として安心して滋賀県で生活できる共生社会づくりに取り組んだ。

そして、学校教育や社会教育で行われる国際教育を推進するため、オリジナル教材の改訂版の完成に伴い、この教材の普及啓発のための講師派遣を行い、国際教育に関する実践例や教材等の情報提供に努めるなど、人材の育成に取り組んだ。

II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教育教材の普及） [自主]

① オリジナル開発教材

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- | | | |
|----------------------|-------|-------|
| ○「ブラジルボックス」 | 貸出件数： | 28件 |
| ○「カルタ わたしん家の食事から」 | 貸出件数： | 3件 |
| ○「非識字体験ゲーム」 | 貸出件数： | 5件 |
| | 販売数： | 16セット |
| ○「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 | 貸出件数： | 4件 |
| | 販売数： | 19セット |
| ○「わたしん家の食事からカードゲーム版」 | 貸出件数： | 1件 |
| | 販売件数： | 41セット |

② 国際教育教材体験フェアの開催（共催：JICA 関西）

○国際教育教材体験フェア in 滋賀

開催日：6月20日（土）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：52人

③ 国際教育教材の貸出（オリジナル教材除く）

・所蔵数：616冊／点

・貸出件数 43件、貸出点数 延べ145点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

① 国際教育研究会「**Glocal net Shiga**」による教材開発検討会等の開催

研究会開催回数：12回、参加者：延べ114人（開催日：参加者）

(4/19：10人、5/17：9人、6/20：13人、7/18：3人、8/30：10人、

9/27：9人、10/12：8人、11/27：10人、12/27：13人、1/31：10人、

2/21：11人、3/13：8人)

② 新作教材普及促進のための講師派遣

新作教材「わたしん家の食事から ^ちカードゲーム版」発行を記念して、この教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、教材活用の普及および販売促進に努めた

新作教材「わたしん家の食事から ^ちカードゲーム版」講師派遣

派遣数：8件

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

① ファシリテーター養成講座の開催（共催：JICA 関西）

国際教育ワークショップ

「地球市民を地域とともに育てよう Part 14 今こそ知りたい！世界で増え続ける難民～あなたは、難民についてどれだけ知っていますか？～」

講師：名取 郁子さん（（特括）難民を助ける会理事・支援事業部長）

山中 伸幸さん（川崎医療福祉大学・JICA 関西教師海外研修 OB 会代表）

開催日：12月27日（日）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：60人

② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：80件

イ. 講師派遣数：30件

ウ. 講師（国際協会職員）派遣、訪問研修受入

・	6/10	草津市立渋川小学校教員研修	参加者	27人
・	6/15	甲賀市立多羅尾小学校訪問研修	参加者	14人
・	7/31	志賀中学校区国際教育人権教育研修	参加者	13人
・	8/19	石山高校2年生人権委員研修	参加者	18人

• 10/13	草津市立渋川小学校 4 年生	参加者	100 人
• 10/14	大津市立仰木中学校 3 年生 「国際理解・人権学習」	参加者	延べ 60 人
• 10/21	国際情報高校 1 年生人権学習 「多文化共生」	参加者	242 人
• 10/22	甲賀市立朝宮小学校	参加者	53 人
• 11/17	稲枝中学校 フィールドワーク 1 年生	来所者	16 人
11/17	守山高校フィールドワーク 2 年生	来所者	2 人
11/24	石山学区人権教育を考える会	参加者	3 人
12/2	治西のびのび広場 小学 1～6 年生	参加者	95 人
12/25	近畿高等学校国際教育研究協議会 高校生国際セミナー	参加者	50 人
1/19	守山市立物部小学校 5 年生	参加者	130 人
1/20	瀬田北学区人権教育研究会 人権問題部会	参加者	20 人
2/25	三重県鈴鹿市役所職員研修	参加者	16 人

エ. 国際教育協働推進事業報告書の発行（3月）

オ. アドバイス等

- ・「開発教育協会関西ブロック運営委員会」委員

（主催：（特活）開発教育協会）

○県教育委員会主催「学校支援メニュー」ブース出展（8月3日）

③ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、初任者・10年経験者を対象とした「国際理解教育」に関する研修を開催した。

[初任者・10年経験者選択研修「国際理解教育」]

- ・開催日：8月21日（金）
- ・会場：ピアザ淡海（大津市）
- ・参加者：19人

2 国際交流推進事業

(1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ 【自主】

①子ども多文化体験プログラム

開催日：5月3日（日）

会場：ピアザ淡海2階 国際情報サロン

内容：「ドイツ人音楽家と音楽を楽しもう！」

講師：アンドレアス ガハプカさん（ドイツ出身）

参加者：親子102人（第1回～第3回合計人数）

*びわ湖ホール主催“ラ・フォル・ジュルネびわ湖2015「キッズプログラム」との連携

②ぐろーかる・カフェ

開催日：8月19日（水）

会 場：ピアザ淡海2階 国際情報サロン
 内 容：世界を体験しよう！「ぐろーかる・カフェ（マレーシア・アフリカ）」
 講 師：マレーシア編 菊地 サリーナさん
 アフリカ編 中村 綾乃さん（JICA 兵庫デスク）
 参加者：親子74人（実施プログラム4回合計）

*滋賀県教育委員会生涯学習課「しが☆まなび☆発見！」と連携

③外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

県内に住む外国人アーティストによる絵画展をピアザ淡海ロビーで開催

ア. 「Los Colores de LAGO TITIKAKA チチカカ湖の色彩」

- ・作 家：ミゲル リマさん（ボリビア出身、音楽家・画家）
- ・日 時：5月1日（金）～5月17日（日）
- ・その他：5/3, 5/10, 5/17 3回ライブペイントも同時開催

イ. 「愛と笑顔」

- ・作 家：金 燕さん（中国出身）
- ・日 時：2月1日（月）～2月15日（月）
- ・作 品：油絵・水彩画約15点

(2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営

[委託][自主]

①施設の維持管理

JCMUの各種プログラムの受講者や教職員のニーズを把握し、快適な環境でセンターを利用できるよう施設の維持管理を適切に行った。

②プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. プログラムパンフレットの作成・配布

- ・県民向け英語プログラムパンフレット
 作成部数：学期用4,000部/回
 作成配布：4回（6月：夏学期、9月：秋学期、11月：冬学期、3月：春学期）
- ・土曜子ども英語教室パンフレットの作成・配布
 作成部数：2,500部/回
 作成配布：1回 <3月>
- ・国内留学プログラム
 作成部数：1,500部/回 + ポスター100枚/回
 作成配布：2回<6月、12月>

イ. 英語プログラム受講者数（単位：人）

講座名	受講者数
県民向け英語講座（年4学期）	378名
うち JCMU 会場	325名
うち南草津コース	53名
こども英語教室（彦根）	67名

武庫川女子大学附属中学校	33名
高校英語講座（滋賀短期大学附属高校、守山中高、米原高校・彦根東高校・虎姫高校・水口東高校）	178名
県立看護専門学校	20名
滋賀大学 TOEFL 講座（教育学部・経済学部）	42名
聖泉大学（人間学部、看護学部）	87名
国内留学（2週間集中英語講座）	50名
古河 A S 株式会社	28名
彦根商工会議所	21名
甲良町教育委員会（小学生夏季英語教室）	70名
彦根市役所（職員向け英語教室）	30名

（3） ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施

①地域交流プログラム

- 滋賀短大附属高校英語研修受講生との交流会（4月）
- 武庫川女子大附属中との交流会（5月）
- 彦根&ミシガン国際交流会（6月と12月）
- 水口東中高ワークショップ（6月）
- 京都学園大学との交流会（6月）
- 週末ホームステイ（7月、10月、2月）
- しが・まなび・発見への出展（8月）
- 米原高校英語研修受講生との交流会（9月）
- バウンドビジネスパーティー（9月）
- ミシガン州友好親善使節団視察対応等（10月）
- 北大津高校交流（10月）
- 滋賀県高校生スピーチコンテストへの協力（11月）
- 滋賀大クルーズ～滋賀大生との交流（11月）
- 彦根市内児童との交流会（12月）
- 虎姫高校科学英語講座プレゼンテーションへの協力（1月）
- 彦根東高校英語コミュニケーション講座への協力（1月～2月）
- 彦根市人権・福祉交流会館での交流会（1月）
- 京都光華女子大との交流会（2月）
- 多賀町緑の少年団交流合宿（2月）
- 河瀬高校クッキング交流会（3月）
- 守山中学高校英語講座受講生との交流会（3月）

②第5回 JCMU 留学生といっしょに親子ハイキング&オープンキャンパス

開催日：9月13日（日）

場 所：JCMUおよび長浜市黒壁周辺

参加者：日本人親子 15 人、JCMU 留学生 10 人
大学生サポーター7人 合計 32 人

概要：JCMU 留学生と親子一緒（中学生以下）が長浜の町をハイキングしながら、英語や日本語で異文化コミュニケーションを図った。JCMU 施設見学や子ども英語講座の体験などのオープンキャンパスも同時開催。

③公開講座の開催

ア. テーマ：「ハリウッド映画のなかの架空の日本」（英）

講師：カール ボーランドさん（JCMU 英語プログラム専任教官）

開催日：7月25日（土）

会場：ミシガン州立大学連合日本センター（彦根市）

参加者：18人

イ. テーマ：「2016 アメリカ大統領選挙について」（英）

講師：ベンジャミン マクラケンさん（JCMU 所長）

開催日：12月12日（土）

会場：ミシガン州立大学連合日本センター（彦根市）

参加者：19人

ウ. テーマ：「クリエイティブ思考入門」（英）

講師：中山郁英さん（東京大学 i.school コミュニケーションマネージャー）

開催日：3月12日（土）

会場：ミシガン州立大学連合日本センター（彦根市）

参加者：24人

（参考）

○日本語・日本文化プログラム学生数（単位：人）

・ 短期特別プログラム（5～8月）： 41（23）

・ 夏学期（6～7月）： 35（42）

・ 秋学期（9～12月）： 36（35）

・ 春学期（1～4月）： 32（31）

計：144（131）

※（ ）書きは、前年の学生数・受講者数

（4）ミシガン州友好親善使節団の受入れ〔自主〕

受入人員 33人

受入期間 10月15日（木）～20日（火）（うちホームステイ5泊6日）

滞在都市

大津市：9人（ランシング市他）

彦根市：3人（アナーバー市他）

近江八幡市：3人（グランドラピッズ市他）

草津市：4人（ロイヤルオーク市・プリント市）

甲賀市：7人（デウィット市・マッシュル市他）

高島市：7人（ペトスキー市）

(5) 姉妹友好州省等交流代表団の受入れ等 [委託]

- ① 第39回全国高等学校総合文化祭の湖南省高校生団随行者受入
受入人員 1人
受入期間 7月23日(木)～7月30日(木)
- ② 台湾亜東関係協会会長団受入
受入人員 4人
受入期間 10月28日(水)
- ③ 台北駐大阪経済文化辦事處處長団受入
受入人員 6人
受入期間 2月15日(月)～16日(火)
- ④ タイ・タマサート大学教授・東アジア研究所長等団受入
受入人員 2人
受入期間 3月6日(日)～7日(月)
- ⑤ 湖南省洞庭湖プロジェクト専門家団受入
受入人員 10人
受入期間 3月21日(月)～25日(金)
- ⑥ ホーチミン市人民委員会委員長等団受入
受入人員 19人
受入期間 3月30日(水)

(6) 湖南省友好交流団派遣事業 [補助] [助成]

滋賀県の知事団による湖南省訪問に合わせて、県民団(高校生交流・県民交流団)を派遣し、両県省の草の根レベルの友好交流を促進した。

(実施主体：滋賀県)

派遣人数 県民交流団33人、高校生交流団15人

派遣先 中国湖南省長沙市

派遣期間 8月9日(日)～12日(水) (3泊4日)

内容 環境セミナー参加、知事等の省長への表敬訪問・交流宴参加、景勝地(岳麓書院)・平和堂見学、一般家庭ホームビジット、学校交流等

3 国際協力の促進

海外技術研修員の受入 [委託]

受入人員 : 3人(中国湖南省 2人、ブラジル 1人)

受入期間 : 8月25日～12月25日(2人) (4ヶ月間)

10月 7日～12月25日(1人) (2ヶ月間18日)

専門技術習得：観光分野【びわこビジターズビューロー】

水環境ビジネス【滋賀県琵琶湖環境部環境政策課・商工
観光労働部商工政策課】

獣医学・動物病院経営【フクナガ動物病院】

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの医療や教育など様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。

対応言語：ポルトガル語、スペイン語

相談日時（月曜日～金曜日 10:00～17:00）

タガログ語、英語

（月曜日～木曜日 10:00～17:00）

相談件数：995件（前年度 959件、対前年度比 103.7%）

相談内容：医療 159件（構成比：15.9%）、教育 193件（19.4%）、
在留資格 34件（3.4%）、生活 381件（38.3%）、労働 102
件（10.3%）、住宅 19件（1.9%）、その他 107件（10.8%）

(2) 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

① 研修会

ア. 第1回研修会

テーマ：「外国人の在留制度について」

講師：高山 知久さん（大阪入国管理局総務課 渉外調整官）

開催日：10月14日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：35人

イ. 第2回研修会

テーマ：「震災疑似体験ゲーム クロスロードから考える外国人住民の対応 in 滋賀県危機管理センター」

講師：濱 尚美さん（神戸クロスロード研究会 代表理事）

開催日：3月9日（水）

会場：滋賀県危機管理センター（大津市）

参加者：24人

② 連絡会議

第1回：10月14日（水）13人、第2回：3月9日（水）24人

(3) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年6回（No. 111～No. 116（偶数月発行））

発行部数：計 20,300部/回

（内訳）日：3,500部、英：2,600部、ポ：4,500部、ス：2,400部、
ハ：1,500部、中：2,400部、台：1,300部、タ：2,100部

(4) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

① 多言語での進路ガイダンスの開催 [助成] [自主]

ア. 第1回

開催日：8月9日（日）

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-net しが（近江八幡市）

参加者：23人

- イ. 第2回（共催：長浜市教育委員会）
開催日：9月27日（日）
会場：勤労者福祉会館「臨湖」（長浜市）
参加者：7人

② 外国にルーツを持つ高校生へのキャリアデザイン研修〔助成〕〔自主〕

ア. 「職業人と語る会」の実施

- 開催日：7月22日（水）
会場：滋賀県立男女共同参画センター G-net しが（近江八幡市）
参加者：外国にルーツを持つ高校生 57人
（県内のブラジル人学校を含む12校1機関より）
概要：各方面で職業人として活躍されているゲスト（18職種）から
高校生が相談会形式で直接話しを聞く機会を設けた。

[ゲスト職種]

通訳、翻訳、パティシエ、調理師、保育士、教師、美容師・ネイリスト、自動車関係、溶接技師、ホテル業、旅行業、陶芸家、盲導犬トレーナー、アパレル関係、建築関係、ウエディングプランナー、コンピュータープログラマー、現役大学生

イ. ブラジル人学校での出前授業への協力

- 講師：森 雄二郎さん（聖泉大学 講師）
開催日：11月18日（水）および12月2日（水）
会場：日本ラチーノ学院（東近江市）
参加者：高校1年、3年生 約20人

(5) 災害時外国人支援

① 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出

- 多言語非常持出袋貸出 貸出件数：4件
○防災多言語資料貸出 貸出件数：2件

※非常持出袋多言語カードを協会HPからダウンロードで使用可。

②消防職員対象緊急時外国人対応に関する研修会の実施

ア. 滋賀県消防学校消防職員初任教育研修

- 日時：4月23日（木）
会場：滋賀県消防学校（東近江市）
講師：滋賀県国際交流員、協会職員
対象：新任消防職員 52人
内容：緊急時・災害時の外国人対応について
・「言葉がわからない 何が起こった（震災編）」を用いたワークショップ
・消防英語、ポルトガル語および「やさしい日本語」による対応について

イ. 全国市町村国際文化研修所消防職員対象研修

- 日時：6月4日（木）
会場：全国市町村国際文化研修所（大津市）
対象：消防職員 21人
内容：外国人とともに行う防災活動

ウ. 滋賀県消防学校消防職員幹部教育初級幹部科研修

日 時：1月21日（木）

会 場：滋賀県消防学校（東近江市）

講 師：滋賀県国際交流員、協会職員

対 象：初級幹部科消防職員 17人

内 容：緊急時・災害時の外国人対応について

- ・「言葉がわからない 何が起こった（震災編）」を用いたワークショップ
- ・「やさしい日本語」等による対応について

③近畿ブロックでの災害時外国人支援の検討

近畿の地域国際化協会構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として、広域連携の強化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練の参加により災害時の広域連携マニュアルの実効性を検証し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面からの支援体制づくりを行った。

■研究会にて災害時の外国人対応マニュアルの検証や広域連携および支援体制構築のため研修会を実施。

【研究会】4回（6/4、9/10、12/3、3/3）

【研修会】近畿協議会共催研修、緊急連絡シミュレーション訓練を実施

【共催研修】

ア. 災害時外国人支援コーディネーター研修（主催：京都府国際センター）

日 時：10月29日（木）

会 場：京都府国際センター（京都市）

内 容：支援コーディネーターに期待される役割、茨城県常総市水害での支援活動報告・事例と検証

参加者：近畿府県・市町国際交流協会／団体職員等 47人

うち当協会災害時外国人サポーター4人、職員1人

イ. 災害時遠隔通訳訓練（主催：和歌山県国際交流協会）

日 程：11月20日（金）

会 場：和歌山県国際交流センター（和歌山市）

内 容：災害時多言語支援センター活動の一環としての遠隔通訳訓練

ウ. 災害時多言語支援センター運営訓練（主催：大阪府国際交流財団）

日 時：1月19日（火）

会 場：マイドームおおさか（大阪市）

内 容：災害時におけるやさしい日本語、多言語支援センター設置訓練

参加者：40名 うち当協会職員1人

○近畿地域国際化協会連絡協議会構成団体実施の研修に出講

日 時：6月5日（金）

会 場：兵庫県国際交流協会（神戸市）

内 容：ひょうご国際交流団体連絡協議会総会・記念講演会等

分野別セミナー「分野2 災害時外国人支援について」を担当

- 滋賀県災害ボランティア連絡協議会（事務局：滋賀県社会福祉協議会）
ワーキンググループおよび委員として参加。

（6）その他の外国人支援 [自主]

① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座（共催：びわこ日本語ネットワーク）

開催日：7月20日（月・祝）（午前・午後＝第1回・第2回）

9月6日（日）（午前・午後＝第3回・第4回）

9月13日（日）（午前・午後＝第5回・第6回）

講師：村井喜久美さん、真田聡美さん（にほんご空間京都・他）

杉本篤子さん（「やさしい日本語」有志の会、にほんご空間京都）

花岡正義さん（「やさしい日本語」有志の会）

会場：能登川コミュニティーセンター（東近江市）

参加者：72人（延べ346人）

イ. 第12回外国人による日本語スピーチ大会 開催協力

開催日：2月28日（日）

会場：野洲文化小劇場（野洲市）

来場者数：200人

参加人数：90人

■滋賀県国際協会会長賞：「経験した厳しさと愛情」

アンドウ ミズナさん（フィリピン）

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口情報の提供（日本語・ポルトガル語・英語）を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

教材蔵書数：340冊 貸出件数：10件、延べ24冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊、貸出件数：4件、延べ25冊

*9月7日（月）～9月16日（水）の期間、同志社女子大学表象文化学部日本語

日本文学科よりインターン生1名を受入れ、協会 事業補助の他に、日本語教育教材の整理業務を行ってもらった。

④ 多言語情報の提供等

外国語が通じる病院の情報提供、防災情報、多文化共生学校づくり

支援サイト、多言語子育て情報サイト、生活Q&A 等で随時情報を提供した。

（7）外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

① びわこ奨学金支給事業（基金：3億円）

- ・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：10人（申請22人）
- ・外国籍大学生 支給額：月額20,000円 支給人員：3人（申請7人）
- ・外国籍高校生 支給額：月額5,000円 支給人員：8人（申請13人）

- ② びわこ奨学金授与式
 日 時：7月12日（日）
 会 場：ピアザ淡海（大津市）
 参加者：奨学生18人および引率者12人

■運用国債（1億円）の買い換え：12月24日

2. 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり

彦根の人権まちづくりフェスタでの防災啓発

出展者：（公財）滋賀県国際協会・彦根市国際協会・JICA 滋賀デスク

日 時：10月10日（土）

会 場：ひこね市文化プラザ（彦根市）

内 容：「言葉が分からない」体験ワーク、多言語防災資料展示

参加者総数：1000人以上（主催者発表）

協力者：びわこ奨学生（留学生、外国籍学生）、県国際交流員、海外技術
 研修員 ※彦根市国際協会と協働で実施。

(2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：108件

② アドバイス等

- 「公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな支援事業フォーラム」 ブース出展協力(10/2)
- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- 滋賀県多文化共生市町ワーキング オブザーバー参加
- 滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議会外国人介護職員養成部会委員
- 「外国にルーツを持つ高校生や青年の集会を企画する」検討会運営委員

○講師等（国際協会職員）派遣

● 5/15	(一財) 自治体国際化協会 多文化共生事業ローカライズ研修	受講者	14人
● 6/22	滋賀県立大学人間学部 「多文化共生論」	受講者	66人
● 7/28	聖泉大学看護学部地域統合実習の受け入れ 「県内外国人の母子支援について」	受講者	2人
● 8/27	草津市立渋川小学校 PTA 人権教育研修会 「やさしい日本語って～多文化共生社会に向けて」	受講者	20人
● 9/16	(一財) 自治体国際化協会 多文化共生事業ローカライズ研修	受講者	12人
● 10/8	シチズンシップ共有企画ユース ACT プログラム 高校生ヒアリング	受講者	2人

● 11/10	滋賀県商工会議所経営指導員研修会 「人権研修 滋賀に住む外国人への理解」	受講者 19人
● 11/25	日吉中学校第3学年人権学習 「生き方講話」(担当:3年3組)	受講者 31人
● 2/26	彦根市「多文化共生フォーラム&経営者研修会」 第1部多文化共生フォーラム パネルディスカッション コーディネーター 「外国人のニーズ～働く立場、消費者の立場」	参加者 100人

《情報収集・提供による環境づくり》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助・自主]

発行回数：年3回

100号(7月)、101号(11月)、102号(3月)

発行部数：2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回

送信件数：300件/回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

① 協会ホームページアクセス数：33,822アクセス(前年度32,394)

月平均：2,818アクセス(前年度2,699)

② SIA Facebook アクセス数：40,895アクセス(前年度15,859)

(参考：記事投稿件数 181件)(前年度 86)

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

① サロン展示事業および啓発展示

「ドイツ特集」「マレーシア特集」「世界の緊急通報電話番号」

② 交流スペースの貸出 67回(日本語教室、高校生訪問研修会場等)

③ 国際情報サロン図書等の貸出(日本語教材、国際教育教材を除く)

・貸出：1件、1冊/本

国旗の貸出 ・貸出：16件、延べ23ヶ国(普通旗・卓上旗)

(5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施

※再掲

・県教育委員会、市教育委員会等(進路ガイダンスの実施)

・滋賀県進路保障推進協議会等(キャリアデザイン研修の実施)

・県教育委員会(「しが☆まなび☆発見」での体験イベント実施)

・(公財)びわ湖ホール(ラフォルジュルネびわ湖2015キーズプログラムの実施)

・JICA 関西(開発教育・国際教育研修の実施)

(6) 海外渡航の支援 [自主]

- ① 渡航相談業務 5件
- ② 写真撮影 (パスポート用写真の撮影)
撮影日および時間：月曜日～金曜日 各9：00～16：30
撮影場所：パスポートセンター (ピアザ淡海1F) 横
利用者数：13,006人 (前年度 12,250人)

《 ボランティア、民間団体の活動促進》

1 ボランティアの活動促進

(1) S I Aボランティアの登録・紹介 (3月31日現在)

国際交流支援	登録： 73人、紹介： 5件、延べ11人
ホームステイ・ホームビジット	登録： 68人、紹介： 1件、4家庭
通訳・翻訳	登録： 116人、紹介： 11件、延べ16人
登録者数合計	延べ 257人 (172人)

- ・ボランティアオリエンテーション：随時
- ・関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV-NET) への参加

(2) 災害時外国人サポーター登録制度 (3月31日現在)

登録者数：82人

① 災害時外国人支援の講座・研修へ参加コーディネート 参加 4人

日時：10月29日 (木) (主催：近畿地域国際化協会連絡協議会実施)

会場：京都府国際センター (京都市)

内容：支援コーディネーターに期待される役割、茨城県常総市水害での支援活動報告・事例と検証

参加者：滋賀県国際協会登録サポーター 4人

② 滋賀県災害時外国人サポーター養成講座 (主催：滋賀県)

日程：3月5日 (土)

会場：滋賀県災害危機管理センター (大津市)

参加者：63人

内容：「災害時、外国人を守る3つのアイデア」 (IT技術者らが避難等をサポートするアプリ開発の「ハッカソン」を同時開催)

参加者：滋賀県国際協会登録サポーター 14人

(3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：55件

ボランティア相談対応：37件

2 民間団体の活動促進

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [自主]

参加団体：68団体 (地域協会部会 16団体、団体部会 52団体)

① 全体会議・部会会議

開催日：7月9日（木）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：39人（全体会議）、32人（地域協会部会・団体部会会議）

② 団体部会研修会（共催：滋賀県、淡海ネットワークセンター）

開催日：12月1日（火）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：45人

概要：滋賀県多文化共生の地域づくりセミナー
「市民活動と多文化共生」

事例発表者：NPO法人 Links、^{ひより}日和-寺小屋-大津、ワールドアミゴクラブ

講師：榎井 緑さん（大阪大学未来戦略機構第五部門未来共生イノベーター 博士課程プログラム 特任准教授）

*未来ファンドおうみ助成事業 2016 説明会と同時開催

③ 地域協会部会研修会

開催日：11月19日（木）

会場：彦根市民会館（彦根市）

参加者：27人

概要：彦根市国際協会事業紹介、意見交換等

④ 全体研修会

開催日：7月9日（木）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：45人

テーマ：「人が集まる！行列ができる！講座の企画と思わず手に取るチラシの作り方」

講師：吉田 清彦さん（講座・イベントプランナー、講座企画塾主宰）

⑤ 運営委員会

開催回数：2回

開催日：4月8日（水）、3月16日（水）

(2) 国際交流推進セミナーの開催 [自主]

（共催：滋賀県、淡海ネットワークセンター）（再掲）

開催日：12月1日（火）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：45人

概要：滋賀県多文化共生の地域づくりセミナー
「市民活動と多文化共生」

事例発表者：NPO法人 Links、^{ひより}日和-寺小屋-大津、ワールドアミゴクラブ

講師：榎井 緑さん（大阪大学未来戦略機構第五部門未来共生イノベーター 博士課程プログラム 特任准教授）

*未来ファンドおうみ助成事業 2016 説明会と同時開催

(3) 民間活動団体等への支援 [自主]

「しが外国籍住民支援ネットワーク」の構成団体として運営委員への参画などを通じて活動を支援している。

- ・その他、後援事業数 15件、協力事業数 1件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

3 JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

《 協会の基盤整備 》

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講演会やワークショップ開催時など様々な機会において入会の案内を行った。

来所者や国際情報サロン利用者に対して事業の案内を行い、会員確保に向けて継続的な啓発を行った。

また、当協会の第2期中期計画の速やかな策定に向け、計画案を作成、公表しパブリックコメントの募集を行うとともに県および県国際交流推進協議会地域部会員あて意見照会を行い、計画最終案をまとめた。

* 税額控除証明書を2012年11月29日に取得

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認められた。）

■ 公益法人立入検査（滋賀県総務部総務課）

実施日：1月6日（水）

会員数

個人会員： 314人 （前年度末：319人）

団体会員： 89団体 （前年度末：90団体）

計 403会員 （前年度末：409会員）